



活気ある浅原を創る会
酒井 豊裕 さん (58歳)
(さかい・とよひろ)



1月25日に開かれた浅原ヴィ
ヴァンテオーケストラの演奏会。
110人以上の地域住民が聴き入り
ました。

歌い継がれてきた校歌はなくなりません。

閉校が決まったとき、ここで何ができるかを考えました。ここを離れ、来年度から津田小学校に行く子どもたちに一番記憶に残るものは何だろうと考えました。

学校がなくなっても歌い継がれてきた校歌はなくなりません。その校歌を最高のかたちで残しておこうと、広島交響楽団に校歌を演奏してもらうことを提案しました。演奏された音源は、子どもたちの歌う校歌とともに、CD化します。

浅原小学校は音楽に縁の深い学校です。昭和53年には保護者・地域の協力で学校にピアノや吹奏楽器が入り、その後はブラスバンドが結成されたり、地域のバイオリン教室から派生

し、卒業生やその保護者によるヴィヴァンテオーケストラが作られたりしてきました。

1月25日にはヴィヴァンテオーケストラによる演奏会が浅原市民センターで行われました。地域住民も多く集まり、奏でる音楽を楽しみました。また、最後には校歌を演奏し、それに合わせて子どもたちが楽しそうに歌っている姿を見ることができ、感慨深いものがありました。

私もそうですが、小学校の6年間というのは、この土地の香りと景色が焼き付き、生涯忘れることのない故郷として記憶に残る時期でもあります。

今でも私は木造校舎で使われていた石炭ストーブ、板張りの廊下や教室の様子などを思い起

こすことがあります。また、自然あふれるこの地域だからこそ四季の移り変わりをより一層感じることもできました。

児童数が少なくなった今では、運動会や学校の環境美化の活動に地域の人たちも多く関わってきました。学校が一つの接点になって関わる人もいたことでしょう。

閉校の日に向け、実行委員会を立ち上げ、話し合いの場を設けてきました。閉校後の「思い出を語る会」には、学校に関わってきた多くの人たちに集まってもらいたいと思います。

多く残されています。今後は、ここで暮らす若い世代のために、この課題と向き合っていければと考えています。

05

my precious school

終わりにから始まる

閉校の日に向け動く学校と地域。

ここで共に机を並べ、学び、笑い、泣き、成長してきた学友たち。両地区は閉校と同時に新たなスタートを切ります。

玖島小の閉校式を行うことが決まった時に、記念誌を作る話を持ち上がりました。

創立100年の記念誌はすでにありましたが、そこから40年の月日が経っています。記念碑を建てる計画もありましたが、記憶と記録に残すことを優先しました。

記念誌には、過去30年分の卒業写真や行事の写真などが中心に掲載されます。この写真を集めるのには苦労をしました。でも携われたことを誇りに思いま

オール玖島で閉校の日を迎えます。

たのだと思います。

閉校式の実行委員会が立ち上がった当初、コミュニティの教育文化部会が中心となり、人を引き込んでいきました。

1月に開催した会議には30代から80代まで40人の参加がありました。少ない人数でも開催には行き着きます。しかし、玖島が一丸となってやることで、一つの行事を成し遂げる成功体験にもなるものだと思います。

閉校式後の「思い出を語る会」は、玖島の音楽や女性の会、佐伯汁、そして住民で作る「くじま楽演隊」が校歌を演奏します。オール玖島で迎える当日。閉校式には玖島から出た人もたくさん参加いただけのと思いま

思い出を語るだけでなく、今の玖島の姿を見て感じてほしいと考えています。

私の子どもは3人も玖島小で育ってきました。児童数が少ないため、運動会などの行事で保護者の参加は欠かせません。しかし、そのおかげで自然と保護者地域同士の結びつきが強くなっ

ていきました。そのつながりは子どもが卒業した後も続いています。もちろん閉校することは寂しく悲しいです。しかし、いつかはこの時が訪れるもののだとも思っていました。

ここに住む人とこれから育つ世代。これをきっかけに改めてここをどうしていきたいのかを考え、一つにまとまるチャンスにしていきたいです。

浅原小学校校歌

作詞 渡辺國太	作曲 宮脇博
一 希望の朝だ 光に呼ぶよ 太陽の子は 正しく強く	手をあげて 集まるよ すこやかに 伸びていく
二 寒さの冬も 松の緑に 浅原の子は 明るく清く	夏の日も 育つよう ほお赤く 伸びていく
三 みんなで仰ぐ 心は広く 日本の子は かしこく高く ああ浅原	大空の いさぎよく 世界の子 伸びていく 浅原小学校

玖島小学校校歌

作詞 松永信一	作曲 山本みのる
一 花咲く道の 八谷むすんで いくよ昔も なにか求めて ああ わたしらも 学園玖島	いくすじか 遠白く あつた道 のびた道 のびゆこう みなともに
二 豊かに大地 校舎光の わたしあなたが じつと見つめて ああ わたしらも 学園玖島	ふみしめて なかにたち 伸びるのを いてくれる つとめよう みなともに
三 山は緑に 風は校舎の 遠い世界の 今もきつと ああ わたしらも 学園玖島	輝いて 窓にくる お友だち 学んでいる さすこころよ みなともに

●玖島小学校閉校式
と き 3月22日(日)10時20分～11時10分
と ころ 玖島小学校体育館

●思い出を語る会
と き 3月22日(日)11時40分～13時10分
と ころ 玖島小学校体育館

●玖島小学校閉校記念誌の受け渡し
記念誌を事前に申し込んだ人には、閉校式で現金(1冊3000円)と引き換えに渡します。
問合せ 玖島小学校閉校記念事業実行委員会事務局(教育総務課内)
☎09215

●浅原小学校閉校式
と き 3月15日(日)9時30分～10時30分
と ころ 浅原小学校体育館

●思い出を語る会
と き 3月15日(日)11時～12時
と ころ 浅原小学校体育館

●広島交響楽団による記念コンサート
と き 3月18日(水)13時30分～14時30分
と ころ 浅原小学校体育館
問合せ 浅原小学校閉校記念事業実行委員会事務局(教育総務課内)
☎09215



閉校記念事業実行委員長
中野 義忠 さん (41歳)
(なかの・よしただ)



10月に開催されたくじまに感謝
祭で合唱する「くじま楽演隊」
の皆さん。地域住民、卒業生で
組織されています。

